TADOKU JUNIOR　アンデルセン童話　★★★☆☆ ふつう　389語

The Shoes of Fortune (5)

幸福の長ぐつ（その5）

Hans Christian Andersen (tr. H. P. Paull et al.)（1846年の本）　原文そのまま　朗読：Kathy Wright

人の声の朗読
を聞く・Web版

どんなおはなし？　「いちばん幸せなところへ行きたい」――神学生の願いに、長ぐつがかなえたものとは？ 幸福の長ぐつの物語、いよいよおしまいです。



“Travelling would be agreeable enough,” said he groaning, “if one only had no body, or could send it to rest while the spirit went on its pilgrimage unhindered, whither the voice within might call it. Wherever I go, I am pursued by a longing that is insatiable—that I cannot explain to myself, and that tears my very heart. I want something better than what is but what is fled in an instant. But what is it, and where is it to be found? Yet, I know in reality what it is I wish for. Oh! most happy were I, could I but reach one aim—could but reach the happiest of all!”

And as he spoke the word he was again in his home; the long white curtains hung down from the windows, and in the middle of the floor stood the black coffin; in it he lay in the sleep of death. His wish was fulfilled—the body rested, while the spirit went unhindered on its pilgrimage. “Let no one deem himself happy before

his end," were the words of Solon; and here was a new and brilliant proof of the wisdom of the old apothegm.

Every corpse is a sphynx of immortality; here too on the black coffin the sphynx gave us no answer to what he who lay within had written two days before:

Two figures were moving in the chamber. We knew them both; it was the fairy of Care, and the emissary of Fortune. They both bent over the corpse.

"Do you now see," said Care, "what happiness your Galoshes have brought to mankind?"

"To him, at least, who slumbers here, they have brought an imperishable blessing," answered the other.

"Ah no!" replied Care. "He took his departure himself; he was not called away. His mental powers here below were not strong enough to reach the treasures lying beyond this life, and which his destiny ordained he should obtain. I will now confer a benefit on him."

And she took the Galoshes from his feet; his sleep of death was ended; and he who had been thus called back again to life arose from his dread couch in all the vigor of youth. Care vanished, and with her the Galoshes. She has no doubt taken them for herself, to keep them to all eternity.

「旅はじゅうぶん楽しいものだろうに」と神学生はうめきながら言いました。「もし体というものがなければね。あるいは、体を休ませておいて、心だけが、内なる声のよぶところへ、じゃまされずに旅していけたらね。どこへ行っても、わたしはみたされることのないあこがれに追いかけられる――自分でも説明できない、胸がはりさけそうなあこがれに。一瞬で消えてしまうものではない、もっとよいものがほしいのだ。でも、それは何なのだろう。どこで見つかるのだろう？それでも、本当は自分が何を願っているのか、わかっている。ああ！ たった一つの目的に行きつけたら――あらゆるものの中でいちばん幸せなところに行きつけたら、どんなに幸せだろう！」

そう言ったとたん、神学生はまた自分の家にいました。窓からは長く白いカーテンがたれ下がり、部屋のまん中には黒いひつぎがおかれていました。その中で、神学生は死のねむりについていました。神学生の願いはかなったのです――体は休み、心はじゃまされずに旅に出ていました。「だれも、最期をむかえるまでは自分を幸せだと思ってはならない」というのは、ソロンの言葉です。そしてここに、この古い格言のかしこさを示す、新しいみごとな証拠がありました。

どんななきがらも、永遠の命についてのなぞをかけるスフィンクスです。ここでも黒いひつぎの上のスフィンクスは、中によこたわる人が二日前に書いた言葉に、何の答えもくれませんでした。

部屋の中で、二つのすがたが動いていました。わたしたちはその二人を知っています。「心配」の妖精と、幸運の使いでした。二人はなきがらの上にかがみこみました。

「これでわかったでしょう」と「心配」は言いました。「あなたの長ぐつが、人間にどんな幸せをもたらしたか。」

「少なくとも、ここにねむっている人には、いつまでも消えない幸せをもたらしたわ」ともう一人は答えました。

「いいえ、ちがうわ！」と「心配」は言い返しました。「この人は、自分で行ってしまったのよ。よばれたわけではないわ。この世でのこの人の心の力は、この命の向こうにある宝物――運命によってこの人が手に入れることになっている宝物に、とどくほど強くはなかったの。今からわたしが、この人によいことをしてあげましょう。」

そして「心配」は、神学生の足から長ぐつをぬがせました。すると死のねむりは終わり、こうして命によびもどされた若者は、若さの力にみちあふれて、おそろしい寝床から起き上がりました。「心配」は消えてしまいました。長ぐつもいっしょに。きっと「心配」が自分のものにして、いつまでもしまっておくのでしょう。

たんご と クイズ　幸福の長ぐつ（その5）

Travelling	旅	**curtains**	カーテン	**sphynx**	スフィンクス
fairy	妖精	**Galoshes**	ゴムの長ぐつ		

Q1 神学生が「いちばん幸せなところ」を願うと、どうなった？

① 王さまになった　② お金持ちになった　③ ひつぎの中で死のねむりについた

Q2 ひつぎのそばにあらわれた二人はだれ？

① 「心配」の妖精と幸運の使い　② 王子とお姫さま　③ 番人と書記

Q3 「心配」が長ぐつをぬがせると、神学生はどうなった？

① 消えてしまった　② 生き返って起き上がった　③ 鳥になった

こたえ

Q1 ③ そう願ったとたん、神学生は家にもどり、黒いひつぎの中で死のねむりについていました。

Q2 ① お話のはじめに、長ぐつのことを話しあっていた「心配」の妖精と、幸運の使いの二人でした。

Q3 ② 「心配」が長ぐつをぬがせると死のねむりは終わり、若者は元気いっぱいに起き上がりました。

原田英語の多読ベストジュニア

本物の英語の絵本 1,000話以上を、原文・人の声の朗読・和訳つきで。ゲーム・なぞなぞも。ぜんぶ無料・登録なし。

haradaeigo.com/tadokubestjr/

出典　英文：原文そのまま（1語も書きかえていません）。Project Gutenberg 電子書籍 #1597（Hans Christian Andersen (tr. H. P. Paull et al.)、1846年）。パブリックドメイン。

挿絵：この本には挿絵がないため、場面をイメージして AI（Codex）で描いた絵です。

朗読（Web版）：Kathy Wright（LibriVox のボランティア。パブリックドメイン）

和訳・クイズ：AIと人が作成。AIは３重チェック。人の目でも順次確認しています。